

令和5年度
社会福祉法人 尚生会
事業実績報告書

〒309-1611

茨城県笠間市笠間1 6 3 5 - 2

TEL 0 2 9 6 - 7 3 - 5 5 6 2

FAX 0 2 9 6 - 7 3 - 5 5 6 3

URL <http://www.shoseikai.com>

< 目 次 >

1. かさまグリーンハウス拠点	1
2. グリーンハウスみと拠点	6
3. グリーンハウスひたちなか拠点	15
4. ケアハウスかさま拠点	24
5. グリーンハウスともべ拠点	33
6. グリーンハウスとちぎ拠点	35
7. グリーンハウス陣屋拠点	41
8. グリーンハウスおおつか拠点	45
9. 訪問看護みと拠点	47
9. 法人本部	49

令和5年度 事業実績報告書

特別養護老人ホームかさまグリーンハウス

要介護度別入所者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	2	3	4	2	11
女	0	4	8	11	16	39
計	0	6	11	15	18	50
平均介護度	4.0					

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	4	4	2	1	11
女	0	0	2	16	13	8	39
計	0	0	6	20	15	9	50

	最高	最低	平均
男	97	68	83.0
女	104	75	89.7
全体	104	68	88.3

市町村別利用者状況

	笠間市	桜川市	筑西市	城里町	真岡市	江戸川区	合計
男	10	0	0	1	0	0	11
女	35	1	1	0	1	1	39
計	45	1	1	1	1	1	50

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	1	2	2	1	1	3	1	11
女	0	0	2	2	8	6	2	11	8	39
計	0	0	3	4	10	7	3	14	9	50

認知症高齢者の日常生活自立度

	認知症無	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	1	1	0	1	2	1	3	2	11
女	2	3	1	2	12	0	18	1	39
計	3	4	1	3	14	1	21	3	50

余暇活動状況

内容	実施回数	内容	実施回数	内容	実施回数
市内ドライブ	8	誕生会	12	レクリエーションクラブ	11

ボランティア受入状況

参加人数	内容
7	そば打ち

会議・委員会

内容	実施回数	実施内容
職員会議	6	ケース検討、行事検討、サービス向上、勉強会
リーダー会議	12	入所検討委員会、身体拘束廃止、感染症対策
虐待防止委員会	12	虐待防止に関わる勉強会及び研修会
褥瘡委員会	12	褥瘡(予防)に係る検討・評価
サービス担当者会議/安全対策委員会	12	介護サービス計画の作成・評価、安全対策検討
給食会議	12	喫食状況・献立・調理内容の確認、調理員会議

研修報告

参加者	場 所	内 容
枝川 庄五	オンライン	安全運転管理者等講習
深作 紀子	オンライン	茨城県救急医学会
枝川 庄五	オンライン	介護報酬改定対応研修
枝川 庄五	オンライン	科学的介護情報システム(LIFE)研修会
枝川 庄五/昼岡 純/関千春	オンライン	虐待防止及び身体拘束適正化
高橋 里緒/小藺江 純平	福祉会館	高齢者虐待フォーラム
枝川庄五・昼岡純・関千春	オンライン	高齢者の権利擁護について
枝川庄五・昼岡 純	オンライン	個人情報保護研修
枝川 庄五	オンライン	事業継続計画(BCP)作成研修
根矢千秋	オンライン	施設内感染症対策研修会
枝川 庄五	中央福祉学院	社会福祉法人施設長研修
枝川 庄五	オンライン	総務DX推進委員会セミナー
林 義之	オンライン	チームリーダー研修
枝川庄五	県開発公社	デジタルリテラシー実践講座
高橋 里緒/小藺江 純平/岡野 望	オンライン	認知症介護基礎研修
枝川 庄五	オンライン	ハラスメント研修
畑岡 武	産業技術イノベーションセンター	ビジネスプラン構築講座
昼岡 純/雨谷 隼平	オンライン	リスクマネジメントA(介護事故防止)

地域貢献事業

参加者	場 所	内 容
枝川 庄五/昼岡 純	笠間小学校	介護体験

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	5	5	9	5	10	10	9	8	11	10	9	5	96
介護事故	9	5	7	10	8	5	6	6	5	5	7	4	77

職員勉強会

延参加人数	内容	延参加人数	内容
54	感染症対策基本的知識等(年6回)	24	身体拘束防止(年3回)
16	事故防止リスクマネジメント(年2回)	28	高齢者の尊厳(年3回)
32	感染症・災害シミュレーション(各年2回)		

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
①職種及び階級別に合わせた勉強会や研修を開催し自らの業務を的確に遂行できるよう「職員の成長を後押しする」取組みを行う(6ヶ月評価 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
②定期的にスタッフ同士のミーティングや面談の機会を設け、人間関係が良好で雰囲気が良い・風通しが良い環境作りに努める(6ヶ月評価 S:7回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	A	A	A

短期入所生活介護稼働状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	年間総数	285	295	285	295	295	285	294	285	294	295	275	294	3,477
	1日平均	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5
実績	年間総数	218	241	235	262	293	268	282	277	254	263	296	335	3,224
	平均	7.3	7.8	7.8	8.5	9.5	8.9	9.1	9.2	8.2	8.5	10.2	10.8	8.8

総括

【入所】

高齢化及び病状の悪化により入院者や長期入院による退所者が多い状況だった。90歳以上の方が半数を占めていることから、介護と看護及び医療機関との連携を図り入所者の健康管理について異常の早期発見・早期受診の対応を行なった。今後も職員一人ひとりが知識及び技術の向上に努め入所者の健康管理に努める。

【短期入所】

感染症予防対策のため、4月から7月は一時的に受入れを制限せざるを得ない状況があった。夏以降、対策を徹底した上で緊急依頼に対しても空床ベッドを活用する等の柔軟な受け入れを行った。短期入所利用者においても、高齢化や認知症の重度化により施設入所や入院となるケースも増えているので、今後も各関係機関連携を図り安定した稼働に繋がられるよう努める。

令和5年度 事業実績報告

認知症対応型通所介護 かさまグリーンハウス

要介護度別利用者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	2	2	1	0	1	6
女	4	3	7	4	2	20
計	6	5	8	4	3	26
平均介護度	2.7					

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	1	0	2	2	0	1	6
女	1	1	4	8	3	3	20
計	2	1	6	10	3	4	26

	最高	最低	平均
男	93	64	78.5
女	98	62	80
全体	98	62	79.2

会議

内容	実施回数	実施内容	内容	実施回数	実施内容
通所職員会議	12	個別支援、伝達事項	安全対策会議	12	安全対策
運営推進会議	2	事業実績・計画、介護報酬改定			

研修報告

参加者	場所	内容
藺部 浩美	法人本部	運営の仕方(稼働率の上げ方)
藺部 浩美	オンライン	個人情報保護研修
成田 留美子	オンライン	認知症について
藺部 浩美	オンライン	科学的介護情報システム(LIFE)研修会
藺部 浩美	オンライン	虐待防止及び身体拘束適正化
藺部 浩美	オンライン	高齢者の権利擁護について
藺部 浩美	オンライン	事業継続計画(BCP)作成研修

ひやりはっと・事故の状況

項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
介護事故	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	6

職員勉強会

延参加人数	内容	延参加人数	内容
72	各委員会について	72	身体拘束廃止(身体拘束適正化委員会)

37	感染症対策基本的知識と理解(年6回)	14	BCP策定 防災 感染症について
18	認知症高齢者の尊厳について	72	不適切事例(虐待防止委員会)

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
①居宅や関係機関と情報交換等交流を定期的に行い新規利用者確保に努める。 (6か月評価S:10人以上 A:7人以上 B:5人以上 C:4人以下)	A	S	S
② 専門事業所として求められる基本的な知識及び技術を身に着ける為、認知症に特化した勉強会や内外研修等に参加し理解を深める。 (6か月評価 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
③定期的にスタッフ同士のミーティングや面談の機会を設け、人間関係が良好で雰囲気が良い・風通しが良い環境作りに努める。 (6か月評価 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S

通所介護稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
年間目標	222	232	232	222	232	232	225	234	234	210	210	240	2,725
年間実績	189	182	183	185	191	202	229	239	237	217	230	211	2,495
1日平均	9.5	7.9	8.3	8.8	9.1	9.6	10.4	10.9	11.3	10.9	11.0	10.0	9.8

総括

上半期は、入院及び施設入所など利用継続に繋がらず稼働が減少した状況となった。10月以降は感染症に注意しながら、週1回の定期的な行事及びイベントを開催し全利用者が参加できるよう取組みを行なった。また、家族には認知症状に関する相談の助言等を行うことで少しでも介護負担の軽減に繋がられるよう支援を行なった。今後も職員一人ひとりが認知症に対する意識を高め、利用者一人ひとりが在宅生活が継続・維持出来るよう更なる知識及び技術の向上に努めたい。

令和5年度事業実績報告書

特別養護老人ホームグリーンハウスみと

要介護度別入所者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	4	10	8	6	28
女	0	1	26	20	15	62
計	0	5	36	28	21	90
平均介護度	3.7					

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計		最高	最低	平均
男	0	0	6	12	7	3	28	男	97	70	85.4
女	0	1	5	22	18	16	62	女	104	65	90.0
計	0	1	11	34	25	19	90	全体	104	65	87.7

市町村別利用者状況

	水戸市	ひたちなか市	大洗町	東海村	笠間市	鉾田市	その他	合計
男	25	1	1	0	0	1	0	28
女	52	3	3	1	1	0	2	62
計	77	4	4	1	1	1	2	90

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

性別	自立度 障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	1	7	11	9	4	1	1	34
女	0	1	2	11	4	13	18	3	4	56
計	0	1	3	18	15	22	22	4	5	90

認知症高齢者の日常生活自立度

性別	自立度 認知症無	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
男	3	1	4	5	9	1	3	0	26
女	12	4	3	11	15	6	13	0	64
計	15	5	7	16	24	7	16	0	90

余暇活動状況

内容	延参加人数	内容	延参加人数	内容	延参加人数
おやつ作り	132	クリスマス会	95	敬老会	98
20周年記念祝い	98	お正月行事	111	節分	20

会議・委員会

内 容	実施回数	実施内容
ユニット会議	12	ケース検討会、リーダー会議の伝達、事故報告等
リーダー小会議	12	スケジュール確認、リーダーからの報告事項等
リーダー会議	12	ユニット目標の達成報告、業務改善事項
安全対策会議	23	事故分析について、事例による再発防止検討会
感染症対策委員会	12	感染症の知識について、標準予防策
給食委員会	12	食事についての要望や問題点及び改善点
身体拘束適正化委員会	12	身体拘束の見直し及び解除検討、権利擁護
入所検討委員会	4	入所順位と新入所者検討

研修報告

参加者	場 所	内 容
大津 富三弘	オンライン	BCP作成研修A～実効性のあるBCP作成
梅井 正道	オンライン	ChatGPT時代のリスキリング
富永 雅子	福社会館	アンガーマネジメント研修
梅井 正道	オンライン	安全衛生対策研修会
大津 富三弘	オンライン	会計基準実践的基礎講習
梅井 正道	オンライン	介護現場における生産性向上推進フォーラム
田山 祐希子	オンライン	介護施設における安全対策担当者養成研修
平田 瑞希	茨城県庁	介護福祉士を目指す外国人材受入施設のための指導者養成研修
山口 諭(他9名)	グリーンハウスみと	介護リスクをどう考える
麓 真弓	オンライン	各高齢者施設での感染知識と対策
氏家 ともみ	オンライン	看護職のためのユニットケア研修
岩間 裕美子	茨城県立歴史館	管理栄養士専門研修会
池田 翔太郎	オンライン	業務改善力向上研修
磯崎 理恵	オンライン	高齢者権利擁護推進研修
堀江裕子(他3名)	オンライン	誤嚥事故予防セミナー
大野 健一郎	オンライン	心の免疫力を高めるワークショップ
峯岸京子	オンライン	社会福祉施設等看護職員研修Bコース
寺門 稜	アダストリアみとアリーナ	人材育成アカデミー
木曾 雄大(他8名)	オンライン	認知症介護基礎研修
大塚 知典/寺坂 郁哉	オンライン	認知症介護実践者研修
寺門 稜	オンライン	ビジネス文書作成
橋本 留実	水戸市福祉ボランティア会館	福祉専門職向け成年後見制度学習会
大津 富三弘/小山啓雅	オンライン	水戸市介護支援専門員支援事業「情報提供研修会」
大津 富三弘他20名	グリーンハウスみと	看取りに関する研修会

池田 翔太郎	オンライン	優しさを伝えるケア技術ユマニチュード マインドマップのご紹介
橋本 浩子	福社会館	臨床死生学研修

地域貢献事業 ※感染症対策のため活動自粛

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	97	62	66	53	51	55	57	65	47	44	40	33	670
介護事故	11	12	17	17	12	6	9	19	11	12	9	11	146

職員勉強会

延参加人数	内容	延参加人数	内容	延参加人数	内容
14	職員教育	37	高齢者の尊厳(3回)	12	24Hシート
14	接遇・マナー	13	感染症シュミレーション	12	BCP
13	フットケア	14	認知症ケア	14	リスクマネジメント
13	緊急時の対応				

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
職員育成・定着①「職員の成長を後押しする」取組みとして、職種及び階級別に合わせた勉強会や研修を開催する(6ヶ月評価、勉強会又は研修回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	A	A	A
② 人間関係が良好で風通しの良い職場環境となるよう生活相談員と職員が面談の機会をもつ(6ヶ月評価、面談回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	A	A	A

短期入所生活介護稼働状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	月間総数	285	295	285	295	295	285	295	285	295	295	275	295	3,480
	1日平均	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5
実績	月間総数	316	286	259	317	332	288	280	285	301	308	265	334	3,571
	平均	10.5	9.2	8.6	10.2	10.7	9.6	9.0	9.5	9.7	9.9	9.1	10.8	9.8

総括

新型コロナウイルスも5類に移行したが、感染症対策委員会を中心に施設内での感染症対策は徹底した。結果、年間通して感染拡大もなく安心安全な施設生活を提供することができた。また面会もガラス越しから直接面会へ制限緩和をし、入所者や家族の方々には大変喜ばれた。今後も、入所者の日々の安心した生活を守る為に、介護や看護、協力医療機関と連携を図り健康管理に努める。

【特養】 昨年7月より協力医療機関が変更となり、幾度となく施設と医療機関との連携を図る為に話し合いを続けた。双方相談しやすい関係性を構築することができており、スムーズな受診対応や医師からの適切な診療を受けることで入院者の減少に繋がっている。入院の際も、定期的に入院状況を確認、把握することで退院受入をスムーズに行うことができていく。今後も、協力医療機関と会議等を積み重ね、より連携を図っていく。

【短期】 定期的な営業や緊急ケースの依頼を柔軟に受入したことで多方面からの居宅支援事業所や医療機関から依頼が増えており、各関係機関との関係の構築に繋げることができた。今後も、感染症対策を怠ることなく定期的な営業を行い、積極的に特養空床を活用し、稼働率の維持に努める。

令和5年度 事業実績報告書

通所介護センターグリーンハウスみと

要介護度別利用者状況

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	1	4	6	1	3	0	15
女	1	0	5	12	14	2	2	0	35
計	1	0	6	16	20	3	5	0	50
平均介護度		1.9							

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	5	26	11	12	54
女	0	1	3	42	31	36	113
計	0	1	8	68	42	48	167

	最高	最低	平均
男	95	75	84
女	98	75	88
全体	98	75	87

会議

内容	実施回数	実施内容
スタッフ会議	12	業務内容の見直し、その他
安全対策会議	12	事故の分析、再防止検討など

研修報告

参加者	場 所	内容
清水 孝一	オンライン	2024年度介護報酬改定を見据えたデイサービスの生き残り経営戦略
清水 孝一	オンライン	通所介護向けオンライン研修
清水 孝一	オンライン	デイサービスの利益率20% 利益の出ているデイは何をしているのか？
清水 孝一	オンライン	水戸市介護予防・日常生活支援総合事業の報酬体系見直しに係る説明会
清水 孝一	水戸京成ホテル	令和5年度 茨城県経営協セミナー
関 英子	オンライン	令和5年度 社会福祉施設等看護職員研修B

ひやりはつと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはつと	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
介護事故	0	0	1	0	1	0	1	0	0	2	1	1	7

職員勉強会

延参加人数	内 容	延参加人数	内 容
15	感染症対策について(年2回)	16	災害発生訓練・シュミレーション(年2回)
14	業務継続計画・BCPについて(年2回)	31	高齢者虐待防止について(年4回)

8	ハラスメントについて	8	認知症対応について
8	転倒予防について	8	熱中症対策
8	言葉遣いについて	8	嘔吐物処理法について

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
みと通所のウリ「歩く事へのこだわりを目指すデイサービス」を強化するため、個別機能訓練のプログラムの充実を図り、新規利用者確保できるよう努める。(新規利用者確保6ヶ月間 S:10人以上 A:9人以上 B:6人以上 C:5人以下)	S	S	S
職員自身のスキルアップとなるよう、職場内勉強会で職員が講師の役割を担い、自らのブラッシュアップの機会とする。(勉強会実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S

通所介護稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
年間目標	550	594	572	572	550	572	572	572	572	528	550	572	6,776
年間実績	484	487	486	504	480	484	540	543	510	460	492	523	5,993
1日平均	19.4	18.0	18.7	19.3	19.2	18.6	20.8	20.9	19.6	19.2	19.7	20.1	19.5

総括

これまで、自法人の居宅介護支援事業所からの利用者受入に偏重していた事で、令和5年度は4月から6月にかけて入院及び利用終了による登録者の急な激減に対し、新規利用者の増加が伸び悩み、その影響が年度末ま続くという状況になり、過去最低の稼働率となった。

これに対応し、大洗町・水戸市・ひたちなか市を中心として、これまで連携の希薄であった居宅介護支援事業所に空き状況の提供や対面による営業及び実績配布を反復継続して行った事で、毎月継続的な新規利用者の獲得に結び付け、下期からは、決して高い実績ではないが、1日平均利用者を19人台まで持ち直す事ができた。

今後も、継続した空き状況の開示、対面による営業及び実績配り等を継続する。

その他、当日の利用キャンセルや入院者に対する対策・予防対策に取り組みながら家族のニーズに合わせたサービス提供ができるよう内容の見直し検討を行う。

令和5年度 事業実績報告書

居宅介護支援事業所グリーンハウスみと

居宅介護支援、介護予防支援利用者数

地区	延人数	地区	延人数	地区	延人数
水戸市	1,202	常陸太田市	1	支援(水戸市)	325
大洗町	122	東海村	12	支援(ひたちなか)	32
		ひたちなか	182	合計	1,876

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	2	7	17	16	6	5	1
女	6	17	30	29	16	6	0
計	8	24	47	45	22	11	1
平均介護度	1.6						

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上
男	0	0	15	25	8
女	1	3	10	36	31
計	1	3	25	61	39

	最高	最低	平均
男	98	71	84
女	106	52	79
全体	106	52	79

会議等参加状況

参加者	場所	内容
大木 勝之	稲荷第一市民センター	地域ケア連絡会議
大木 勝之/永田 礼子/関沢 恭鷹/沼田 由美子	稲荷第一市民センター	地域ケア個別会議
大木 勝之/永田 礼子/関沢 恭鷹/沼田 由美子	稲荷第一市民センター	常澄圏域地域ケア連携会議(年6回)

研修報告

参加者	場所	内容
関沢 恭鷹	オンライン	ケアマネ技術向上セミナーⅩ
大木 勝之	オンライン	ケアマネジャーの質問力
大木 勝之	オンライン	情報提供研修会
永田 礼子/関沢 恭鷹	オンライン	法定研修「更新研修Ⅱ」

大木 勝之	オンライン	水戸市在宅医療介護連携推進研修会
-------	-------	------------------

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	12月評価	年間評価
感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対応策について理解を深める。(実施回数 S:6回以 A:5回 B:4回 C:3回以下)	A	A	A
利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、サービス計画書を組み立てているか会議の中で、新規相談報告やケース検討、ケアプラン検証の場面で確認する。(6か月で確認できた実施率 S:100% A:95%以上 B:90% C:85%以下)	S	S	S
質の高いケアマネジメントが提供できるよう、各担当利用者のアセスメントからモニタリングの流れを検証確認する機会を設けることで、ケアプランとニーズの接合性を図る。(6か月ごとの検証回数 S:10回 A:8回 B:6回 C:4回以下)	S	S	S

総括

<p>今年度は、課題整理総括表を活用し、利用者の生活を困難にしている要因を探ることで、解決すべき課題を抽出できるように努めた。改善できること・維持できることを明確にし、支援のための見通しを立てることができている。水戸市のケアプランチェックでは、日本介護支援専門員協会理事である能本氏より「アセスメントを含め根拠のあるケアマネジメントが行えている」とお褒めの言葉を頂いている。</p> <p>また、他事業所との勉強会では、お互いに質問を重ねることで理解を深めることができ、共に地域に住む高齢者を支援する仲間として良好な関係を築けている。</p> <p>前期は終了者の増加により件数を増やすことができなかったが、後期は高齢者支援センターだけでなく病院や他事業所・家族から紹介を頂いて件数を増やすことができています。研修に関しては、オンライン研修を中心に参加することができている。</p> <p>今後は、同法人の高齢者支援センターと連携し、要介護または要支援となった地域の方が可能な限り、居宅において自立した日常生活を営むことができるよう取組み、地域で選ばれる事業所を目指していく。</p>
--

令和5年度 事業実績報告書

水戸市常澄高齢者支援センター

相談者調（年度内新規相談のみ）

稲荷第一地区	28	大場地区	15	圏域外	2
稲荷第二地区	22	下大野地区	19	合計	86

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	1	0	20	8	0	0	29
女	4	5	19	20	6	3	57
計	5	5	39	28	6	3	86

	最高	最低	平均
男	89	61	76.5
女	97	56	79.3
全体	97	56	78.4

相談内容内訳

相談内容	延件数	相談内容	延件数	相談内容	延件数
介護予防・生活支援	3	医療	180	ケアマネからの相談	8
介護予防・訪問・通所	32	家族状況	5	安心安全見守り隊	1
ひとり暮らし	45	介護保険制度	461	虐待の届出・通報	3
介護方法	1	経済状態	10	虐待応協議、立入、保護	5
介護予防	10	住まい住宅改修	54	虐待関連	18
高齢世帯	15	生活関連	225	成年後見制度	1
施設入所	69	総合事業	12	認知症	295
精神疾患	8	福祉・保健サービス	291	合計	1,752

会議等参加状況

参加者	会議名	参加者	会議名
岩下 一善/長谷川 崇	コアメンバー会議	岩下 一善	虐待対応会議
岩下 一善/長谷川 崇	運営推進会議	長谷川 崇	市町村等認知症担当者会議
岩下 一善/長谷川 崇	常澄地区ケアマネ連絡会議	長谷川 崇	支援センター事業部会
岩下 一善/長谷川 崇	常澄地区事業者連絡会議	岩下 一善	水戸市社会福祉協議会常澄ブロック会議
岩下 一善/長谷川 崇	常澄地区民生委員定例会	長谷川 崇	水戸市社会福祉士部会
岩下 一善	水戸市地域包括支援センター運営協議会	岩下 一善	水戸市主任介護支援専門員部会
岩下 一善/長谷川 崇	水戸市地域包括支援センター連絡会議	岩下 一善	水戸市障害者相談支援事業所会議
岩下 一善/長谷川 崇	地域ケア個別会議	長谷川 崇	水戸市保健師部会
岩下 一善/長谷川 崇	認知症地域支援推進員会議	岩下 一善	認知症カフェ運営者等連絡会

研修報告

参加者	場所	内容
岩下 一善/長谷川 崇	オンライン	ひきこもり相談支援実践研修会
長谷川 崇	福祉会館	茨城県高齢者虐待防止フォーラム

岩下一善	オンライン	茨城県地域包括ケア推進センター全体会議
岩下一善/長谷川 崇	オンライン	介護保険制度と介護報酬改定の行方
岩下一善/長谷川 崇	オンライン	介護予防・日常生活支援総合事業報酬改定の説明会
長谷川 崇	水戸市役所	高齢者の消費者トラブル対処法について
岩下一善/長谷川 崇	オンライン	若年性認知症支援研修会
岩下一善	オンライン	水戸市医師会在宅医療事例検討会
岩下一善	オンライン	水戸市介護支援専門員支援事業研修
岩下一善/長谷川 崇	オンライン	水戸保健医療圏認知症疾患医療連携協議会
長谷川 崇	水戸市福祉ボランティア会館	成年後見制度の申立てに係る研修会
岩下一善	オンライン	石崎病院認知症疾患医療センター研修会
岩下一善	水戸市役所	地域づくり加速化事業
長谷川 崇	水戸市福祉ボランティア会館	認知症サポーターのつどい
岩下一善/長谷川 崇	上大野市民センター	認知症チェックセミナー
長谷川 崇	オンライン	認知症とともにあゆむまちづくりを
岩下一善	オンライン	認知症高齢者の在宅医療連携実践について

企画講座交流会

名称	場所	参加人数	名称	場所	参加人数
ニコニコサロン	グリーンハウスみと	204	常澄地区シニア作品展	稲荷第一市民センター	151
本人ミーティング	グリーンハウスみと	1	認知症チェックセミナー	下大野市民センター	40

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
① 認知症の人及びその家族への支援、及び本人の声を聞く取組の為、「認知症カフェ」「本人ミーティング」等のイベントを開催する。(6ヶ月の実施回数 S:7回以上 A:6回 B:5回 C:4回以下)	A	A	A
② 支援困難事例に対して、個別課題の解決を目的とした具体的な支援を導くことと、その内容から地域課題を把握する為地域ケア個別(連絡)会議を定期的を開催する。(6ヶ月の実施回数 S:7回以上 A:6回 B:5回 C:4回以下)	A	A	A
③ 権利擁護や人生の終末期における本人の意思決定支援を行う啓発活動を実施する為、地域の各種会議(民生委員定例会など)や教室(介護予防)等へ積極的に参加する。(6ヶ月の実施回数 S:7回以上 A:6回 B:5回 C:4回以下)	C	C	C

総括

水戸市方針の重点項目である事態把握業務の為、3～5年度まで地域高齢者の訪問調査継続し、2年半で合計914件の調査を実施致した。調査をきっかけに支援センターを理解頂き、必要な支援の提供につながる事ができている。

高齢者虐待のケース支援について3件の通報があり、うち1件については虐待と認定され、その後の対応により再発なく終結し、現在では0件。今後も高齢者虐待の防止のため、啓発活動を継続する。

人生会議やエンディングノートについては、それを議題として、地区内の事業所と勉強会を実施。その後、終活や人生会議について、広報紙やチラシにて地域へ広報を行うことができた。

第8回目となるシニア作品展を、3日間にわたり開催することができた。今年度は9団体と個人14名の出品者により、400点以上の作品提供の協力を頂けた。高齢者の方々の交流や相談、地域の介護保険事業所のPRの場となった。

令和5年度 事業実績報告書

特別養護老人ホームグリーンハウスひたちなか

要介護度別入所者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	0	7	4	5	17
女	0	0	14	18	21	53
計	1	0	21	22	26	70
平均介護度	4.01					

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	2	0	3	9	1	2	17
女	0	0	5	20	14	14	53
計	2	0	8	29	15	16	70

	最高	最低	平均
男	96	61	82.1
女	108	74	90
全体	108	74	88.1

市町村別利用者状況

	ひたちなか市	東海村	日立市	城里町	常陸太田	笠間市	茂木町	合計
男	13	0	1	2	0	0	1	17
女	46	4	1	0	1	1	0	53
計	59	4	2	2	1	1	1	70

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

性別	自立度 障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	0	2	1	5	6	2	1	17
女	0	0	0	3	2	13	19	2	14	53
計	0	0	0	5	3	18	25	4	15	70

認知症高齢者の日常生活自立度

性別	自立度 認知症無	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	2	0	0	1	12	0	2	0	17
女	1	0	0	3	23	5	21	0	53
計	3	0	0	4	35	5	23	0	70

余暇活動状況

内容	延参加人数	内容	延参加人数
季節感を感じる行事	305	旬の食べ物を味わう	212
敬老会	80	食事イベント	208
誕生会	48	夏祭り	57

ボランティア受入状況 ※感染症対策のため受入中止

会議・委員会

内容	実施回数	実施内容
ナース会議	12	ケース検討, 業務改善検討, 感染症対策検討
ユニット会議	12	ケース検討, 職員の知識と技術向上, 業務改善検討, 感染症対策検討
ユニットケア実行委員会	12	個別ケア及び標準化したケアの展開検討
リーダー会議	12	サービスの運営・維持確認, 各委員会報告, 業務改善検討等
安全衛生委員会	12	感染症対策について, 労働環境について
安全対策会議	12	事故分析, 事故予防策について
食事委員会	12	食事についての要望や問題点及び改善策
身体拘束排除委員会	12	身体拘束の見直し及び解除検討
入所検討委員会	4	待機者状況報告と入所順位決定

研修報告

参加者	場所	内容
山崎 徹	オンライン	「テクノロジー」×「福祉」を学ぶ
森島 萌	茨城県保健衛生会館	R5年度給食施設調理従事者研修会
齊藤 悦子	福祉会館	安全衛生研修会
齊藤 悦子	オンライン	茨城県看護職員等認知症対応力向上研修
齊藤 悦子	オンライン	看護職のためのユニットケア研修
田口 ひろみ	福祉会館	給食研究会ブロック合同研修会
田口ひろみ/森島 萌	桜川水戸市民センター	県央地区老人施設給食担当者研究会
藤澤 理恵子	オンライン	高齢者施設における転倒骨折予防セミナー
鈴木 良幸/山崎 徹	福祉会館	施設長管理者研修会
高信 晴美	那珂湊しあわせプラザ	どうなる?5類移行後の新型コロナ対応
山崎 徹	ザ・ヒロサワ・シティ会館	福祉サービス苦情解決研修会

地域貢献事業 ※感染症対策のため活動自粛

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	67	126	46	34	41	38	62	49	41	74	54	55	687
介護事故	6	3	4	7	7	1	7	4	8	8	4	8	67

職員勉強会

延参加人数	内容	延参加人数	内容	延参加人数	内容
88	BCP(2回)	86	ガウンテクニック・手洗い研修	26	脱水症・食事介助
88	権利擁護(年2回)	44	リスクマネジメント	88	虐待防止(年2回)
88	感染症対策(年2回)	88	身体拘束(年2回)	44	食中毒

13	AED使用研修
----	---------

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
① SNSの活用により施設情報を発信し認知度を高める。(発信回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	A	A	A
「尊厳を守るケア」「情報共有」「個別ケア」「多職種連携」等各町の目標達成(達成状況 S:95%以上 A:90%以上 B:85%以上 C:85%未満)	A	A	A

短期入所生活介護稼働状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	年間総数	285	295	285	295	295	285	294	285	294	295	275	294	3,477
	1日平均	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5
実績	年間総数	203	194	182	293	302	303	347	313	362	392	352	371	3,614
	平均	6.8	6.3	6.1	9.5	9.7	10.1	11.2	10.4	11.7	12.6	12.1	12.0	9.9

総括

令和5年度重点目標である「人材の確保・育成・定着」については、新卒者3名・中途採用者5名が入職し定着に繋がった。業務の習得状況に合わせた指導に加え、個別面談などを実施しメンタルサポートを行うことで不安のない働きやすい環境を構築できたことが要因だと考えられる。

入所者については、今年度の年間退所者数が18名と前年比で増加傾向にある状況。18名のうち13名が死亡退所。入所者の平均介護度は4.01で全国平均よりも高く、入院者についても前年月平均1.7名から2.4名となっており、重度者が増えたことに併せ状態が不安定な方も多くなってきている。また、退所者の中には吸引等の医療依存度が高い入所者がいたことから、今後資格取得など受入体制を整えていく必要がある。

令和5年度 事業実績報告書

認知症対応型通所介護センターグリーンハウスひたちなか 健康維持通所型グリーンハウスひたちなか

要介護度別利用者状況(認知症対応型通所介護センター)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	2	0	2	1	1	6
女	2	6	4	0	0	12
計	4	6	6	1	1	18
平均介護度	2.5					

年齢別利用者構成(認知症対応型通所介護センター)

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	1	4	1	0	6
女	0	0	2	5	3	2	12
計	0	0	3	9	4	2	18

	最高	最低	平均
男	93	76	83.6
女	97	71	86.9
全体	97	71	85.8

会議

内容	実施回数	延参加人数	実施内容
スタッフ会議	12回/3回(書面)	61	個別カンファレンス、業務改善、行事検討、感染防止対策
安全対策会議	12回/3回(書面)	61	事故防止対策
運営推進会議	2回	6	事業実績、事業計画書報告・家族、民生委員意見報告

研修報告

参加者	場所	内容
照沼 真由美	オンライン	2024年度介護報酬改定についてポイントを解説
五野上 沙織	オンライン	24年度介護報酬改定から読み解く生き残るサービスの条件
照沼 真由美	オンライン	会計書類用利用料データの保存と報告の研修
五野上 沙織/照沼 真由美	オンライン	介護報酬改定2024対策セミナー
照沼 真由美	オンライン	科学的介護情報システム『LIFE』最新動向と今後のゆくえ
照沼 真由美	オンライン	ケアマネ更新研修
照沼 真由美	ふれあい交流館	地域密着型サービス事業者向け集団指導
照沼 真由美	法人本部	デーサービスV字回復セミナー
五野上 沙織/照沼 真由美	オンライン	デーサービスの稼働率アップ
小瀧 和代	オンライン	認知症介護基礎研修
照沼 真由美	オンライン	認知症対応型サービス事業者研修
照沼 真由美	オンライン	脳体カトレナー研修
照沼 真由美	オンライン	ハラスメント研修

五野上 沙織/小瀧 和代	オンライン	リスクマネジメント(危険予知トレーニング)
--------------	-------	-----------------------

ひやりはっと・事故の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひやりはっと	17	17	36	18	19	36	37	53	31	52	56	59	431
介護事故	1	0	1	1	2	0	1	1	0	3	1	0	11

職員勉強会

延参加人数	内容	延参加人数	内容
7	BCPIについて	8	医療に関する知識
13	感染症対策	14	リスクマネジメント(KYT)
6	権利擁護について	7	権利擁護について
6	集団レク・活動	7	実績報告会
14	認知症について		

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①ホームページやSNSを活用し、事業所の情報を発信し認知度を高める。(発信回数 S:6回以上 A:5回以上 B:4回以上 C:3回以下)	S	S	S
②HDS-R評価ツール等を活用しながら本人に合った個別プログラムを提供し、定期的に再アセスメントを実施する。(再アセスメント回数 S:4回以上 A:3回以上 B:2回以上 C:1回以下)	A	A	A

通所介護稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	211	242	232	221	221	221	232	232	221	211	211	211	2,666
実績	207	244	228	217	171	209	213	209	209	172	182	190	2,451

健康維持通所型サービス稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
日数	4	3	5	4	1	3	4	4	1	3	5	4	41
実績	21	16	20	15	4	12	14	16	4	11	14	6	153

総括

今年度から開始したインスタグラムはフォロワーも増え定期的に発信ができた。地域の一般の方に情報提供できるようにチラシ等を配布し、さらなる事業所の知名度、認知度を高めていきたい。

長谷川式の評価ツールを導入したが、個別のプログラムに落とし込むことが難しく結果を出せなかった。令和6年度は『コグエボ』を導入し利用者にあった個別のプログラムを実施し認知症状の改善を図っていきたい。

令和5年度は、コロナウイルスによる影響とレスパイトのための短期入所の併用により目標を下回る結果となった。引き続き感染対応を行うとともに、家族に寄り添いメンタルケアや臨時の利用等も積極的に受け入れ、通所介護としてのレスパイトケアに繋げ、稼働維持に努めていきたい。

令和5年度 事業実績報告書

訪問看護ステーション グリーンハウスひたちなか

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	医療	合計
男	0	10	4	14	8	3	3	8	50
女	3	6	12	11	4	7	4	11	58
計	3	16	16	25	12	10	7	19	108

年齢別利用者構造

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	5	4	18	19	2	2	50
女	4	2	14	27	6	5	58
計	9	6	32	46	8	7	108

	最高	最低	平均
男	97	60	78.3
女	98	24	80
全体	98	24	79.1

市町村別利用者状況

	ひたちなか市	那珂市	東海村	水戸市	大洗町	合計
男	45	3	2	0	0	50
女	48	2	3	3	2	58
計	93	5	5	3	2	108

会議

内容	実施回数	実施内容
スタッフカンファレンス	51	新規利用者、利用者情報確認、感染対策確認

研修報告

参加者	場所	内容
本多 弘志	オンライン	2024年度診療報酬・介護報酬・障害福祉改定研修会
大部 はるみ/金田 里沙/菊池 聖子	茨城県水戸市民会館	茨城県看護研究学会 ～キャリアが紡ぐ～
坂場 紀子/坂本 はるみ	幕張メッセ	介護&看護EXPO ナーシングケア東京
川又 忍	オンライン	看護師に対する緩和ケア研修
野口 由美	千代田区連合会館	看護師のためのフットケア入門講座
川又 忍/山本 祐己	尚生会本部	高齢者虐待防止研修会
坂本 はるみ/大部 はるみ	大島コミュニティセンター	小地域ケア会議 事例検討会
松浦 透威	オンライン	新卒の今、考えるべき専門職と政治の関係

坂本 はるみ	オンライン	診療報酬改定、介護報酬改定研修
大部はるみ	日立太田合同庁舎	摂食嚥下研修会
金田 里沙/菊池 聖子	オンライン	第2回茨城県訪問看護事業協議会看護研究会
野口 由美	オンライン	多職種連携のための意見交換会
金田 里沙	オンライン	つながる学び場 大島中学区
川又 忍	那珂湊総合福祉センター	どうなる？5類移行後の新型コロナ対策
坂場 紀子/菊池 聖子	オンライン	認知症基本的対応技術、カンフォータブル・ケア
金田 里沙	CIVI研修センター-日本橋	訪問看護師がおこなうリンパマッサージの基本と演習
野口 由美	オンライン	訪問看護専門分野研修(難病)
堀切 理美	オンライン	訪問看護の経営・運営セミナー
坂本 はるみ	茨城県看護協会	看看連携 集まって話して未来を拓く！

職員勉強会

参加人数	内容	参加人数	内容
7	契約の方法、注意事項	4	認知症リハビリテーション
11	災害発生時の対応について	12	検査データの見方、薬の作用・副作用
11	BLSについて	11	災害発生時の対応について
11	多職種交流&勉強会		

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①職員及び利用者の感染予防について、定期的に予防行動の確認ができる。(6か月での実施状況 S:6回以上 A:3回以上6回以下 B:1回~2回 C:0回)	S	S	S
②研修に参加し伝達講習を実施することで職員教育を充実する。(6か月での参加状況 S:7件以上 A:4~6件 B:1~3件 C:1件未満)	A	A	A
③ACPを活用した看取りを実施し、本人、家族に寄り添った看取りケアが実施できる。(6か月での実施状況 S:3件以上 A:2件 B:1件 C:0件)	S	S	S

訪問看護稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	900	900	920	920	920	940	940	960	940	940	940	960	11,180
実績	812	888	895	862	857	911	1,007	933	891	839	867	864	10,626

総括

・利用者数は年間延べ10,626名と目標を達成することができなかった。
・今年度、看護師の特定行為に係る研修が修了したため、その強みを活かし、新たな多職種連携ができるように活動していく。
・研修参加や、事業所での勉強会も増え個々のレベルアップ、またチームワークの強化に繋がり今後のサービスの質の向上となっていくと考える。

令和5年度 事業実績報告書

大島中学校区地域包括支援センター / 介護予防おおしま

新規総合相談実人数 / (予防プラン直作成数)

大島中学校区	155(651)
--------	----------

総合相談者年齢別利用者構成 ()内は予防プラン直作成対象者

	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 89歳	90～ 94歳	95歳 以上	匿名等	合計		最高	最低	平均
男	4	31	25	5	1	6	72	男	95	62	78.5
	(0)	(2)	(4)	(0)	(0)	(0)	(6)	女	98	62	80.0
女	5	29	30	7	3	9	83	全体	98	62	80.0
	(0)	(3)	(8)	(2)	(0)	(0)	(13)				
計	9	60	55	12	4	14	155				
	(0)	(5)	(12)	(2)	(0)	(0)	(19)				

相談内容内訳

相談内容	延件数	相談内容	延件数	相談内容	延件数
介護認定	88	施設の相談	39	一般介護予防事業等	3
介護保険サービス	141	認知症・精神に関する相談	39	成年後見制度等	10
介護予防・生活支援サービス	33	保健・医療に関する相談	55	高齢者虐待	8
介護保険外サービス	12	生活問題に関する相談	80	ケアマネ相談	18
安否に関する相談	36			合計	562

会議等参加状況

参加者	会議名
池田 麻美	社会福祉士会議(年3回)
平松 香代子	保健師会(年2回)
山本 義則	主任ケアマネ会議(年9回)/センター長会議(年5回)
山本 義則	認知症地域支援推進員会議(年4回)/地域ケア会議
山本 義則	連携推進部会(年3回)/地域包括支援センター運営部会
山本 義則/平松 香代子/池田 麻美	運営推進会議(年14回)
山本 義則/平松 香代子/池田 麻美	小地域ケア会議(年3回)
山本 義則/平松 香代子/池田 麻美	ひたちなか医療圏認知症疾患医療センター-連携協議会(年2回)
山本 義則/平松 香代子/池田 麻美	包括連携会議(年3回)
山本 義則/平松 香代子/池田 麻美	水戸保健医療圏認知症医療連携協議会(年2回)

研修報告

参加者	場所	内容
山本 義則	オンライン	介護支援専門員研修会(年2回)

池田 麻美	ふぁみりこらぼ	こらぼDEまなぼ「ヤングケアラー」
山本 義則	オンライン	つながる学び場「医療ソーシャルワーカー」
山本 義則/平松 香代子	常陽銀行ひたちなか支店	家族信託等勉強会
山本 義則	田彦コミュニティセンター	若年性認知症支援研修会(年2回)

企画講座、イベント、交流会

名称	場所	内容
おおしまピクニック(年4回)	外野第1公園	ネイチャーゲーム他者との交流
オリーブの会	市民交流センター	エンディングノート
外野ウエルカフェ(年12回)	ウエルシア外野店	軽体操、ミニ講座、脳トレ等
つながる学び場	オンライン	多職種交流会
認知症家族のつどい	ふぁみりこらぼ	交流会
フレイル関連イベント	ファッションクルーズ	フレイル予防啓発
若年性認知症本人と家族の集い(年2回)	総合福祉会館 他	若年性認知症の集い
神明プラチナ会講和	神明会館	在宅福祉の様々なサービスや助成
図書館カフェ	ひたちなか市中央図書館	図書館で認知症カフェ
東大島ふれあい食事会講和	大島コミュニティセンター	介護保険制度、エンディングノート
民生委員協議会勉強会(講師)	大島コミュニティセンター	見守り活動で注意するポイント

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①自センターのホームページを作成。情報を適宜更新していくと共に広報紙等も活用し、数多くの情報発信に努める。(6か月の情報発信 S:8件以上 A:7件 B:6件 C:5件以下)	C	C	C
②高齢者を対象とした独自のイベント開催に加え、既存の「サロン」や「高齢者クラブ」等とも積極的に交流の機会をつくり、高齢者のとじこもり予防等につなげる。(6か月の交流回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
③認知症に関する勉強会を開催し、認知症高齢者及びご家族等に対する支援に必要な知識や技術を学ぶと共に、最新情報等についても知る機会とする。(6か月の開催回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	C	C	C

総括

開設4年目を迎え、「総合相談支援業務」としては、多種多様なケースに対し迅速に対応を行った。また、「権利擁護業務」としては、成年後見制度の利用が必要な方に対する申し立て支援を行った。

「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」としては、地域の介護支援専門員に対して随時相談や同行訪問を行うとともに、小地域ケア会議にて個別の課題解決に努めた。介護支援専門員を対象とした研修会を開催し、資質向上に努めた。オンライン「つながる学び場」では多職種で企画開催し、多くの医療福祉職員との交流の場の提供を行った。

「介護予防サービス計画」については、近隣市町村の介護支援専門員の協力を得ながら進め、一人一人の課題に向き合い、その人の自立支援を心がけながら、介護予防ケアマネジメントのサービス計画を作成した。

認知症地域支援推進員と適宜連携し、個別ケースの課題解決を進めていくとともに、認知症家族の会により認知症の方とその家族に対する支援に努めた。また、「外野ウエルカフェ(認知症カフェ)」、「おおしまピクニック」等独自な方法で認知症の方及び家族の交流の場を確保した。

宅配弁当業者も地域資源と捉え、独自に作成した「地域見守りにかかわる通報等ガイドライン」を活用し、地域の見守り機能の強化につなげた。また、地域からの求めに応じ、健康に関する講座や介護保険制度に関する講話を行うことで、地域の啓蒙活動に努めた。最期まで自分らしさを大切にしていた為、エンディングノートを多くの市民に配布し、使用目的を説明しながら認知症への向き合い方の講義活動も行った。

令和5年度 事業実績報告書

ケアハウスかさま

入所者関係

要介護度別入所者状況

	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	7	2	2	10	0	0	1	0	22
女	6	3	4	11	3	1	0	0	28
計	13	5	6	21	3	1	1	0	50
介護認定率	74%								

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	1	7	8	4	1	21
女	0	1	5	13	7	3	29
計	0	2	12	21	11	4	50

	最高	最低	平均
男	99	68	82.7
女	98	69	85.5
全体	99	68	84.5

都道府県別利用者状況

	茨城県	東京都	千葉県	埼玉県	神奈川県	栃木県	その他	合計
男	15	3	0	0	1	2	1	22
女	21	2	1	0	0	1	3	28
計	36	5	1	0	1	3	4	50

余暇活動状況

内容	実施回数	内容	実施回数	内容	実施回数
DVDリハビリ体操	21	はじめてのヨガ	11	ドライブウォーキング	21
3B体操	9	ホットカフェ	4		

ボランティア受入状況

延参加人数	内容	延参加人数	内容	延参加人数	内容
57	シルバーリハビリ体操	11	民話・フラダンス	9	おかめひょっとこ踊り
3	落語・漫談	8	クラリネット演奏	73	草取り、環境整備
4	口の健康に関する講話	75	子ども食堂		

会議・委員会

会議名	回数	実施内容	会議名	回数	実施内容
安全対策委員会	11	事故予防対策	職員会議	11	入所者について、行事確認等
感染症対策委員会	11	感染症の基本知識と予防対策	厨房会議	11	メニュー・調理法確認、その他
虐待防止委員会	2	指針共有、高齢者の尊厳	懇談会	11	施設内生活、健康管理等

身体拘束適正委員会	4	指針共有、不適切ケア			
-----------	---	------------	--	--	--

研修報告

参加者	場所	内容
近田麻美	東京ビックサイト	Care-TEX
粉川裕正	ロフォス湘南	社会福祉施設長資格認定講習課程スクリーニング研修
犬塚新一/大月春香	オンライン	認知症介護基礎研修
松岡淳子/大月春香/犬塚新一	ケアハウスかさま	認知症介護と高齢者虐待防止に関する研修会
粉川裕正/犬塚新一	笠間市友部社会福祉会館	福祉有償運送サービス運転者講習会
粉川裕正	福祉会館	ヘビークレーム研修

地域貢献事業

子ども食堂(全10回)	263食提供
-------------	--------

職員勉強会

参加人数	内容	参加人数	内容	参加人数	内容
7	虐待防止について	6	インフルエンザについて	6	災害避難時の対応
8	感染症について	7	業務継続訓練(ノロ・コロナ)	6	高齢者の転倒事故予防
8	食中毒について	5	緊急時の対応について	8	認知症について
5	脱水と熱中症対策	5	高齢者の交通事故予防		

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
職員の育成:外部研修の参加・関連事業所と連携を図ることで、職員一人一人が利用者対応に必要なスキルを身につける。(6か月での実施回数 S:6回以上 A:5回以上 B:4回以上 C:3回以下)	S	S	S
日常生活の維持向上:毎日のラジオ体操を除いた各種教室・イベントの実施回数(6か月実施回数 S:65回以上 A:60回以上 B:51回以上 C:50回以下)	B	S	A

ケアハウス利用状況(定員50名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,450	1,550	18,300
実績	1,512	1,581	1,530	1,581	1,581	1,530	1,581	1,530	1,581	1,581	1,479	1,581	18,648

総括

(施設)

今年度も満床を維持することができ、目標は達成。しかし、8月から9月にかけてコロナ感染者が発生し、居室内での生活や行事等活動の制限を余儀なくされた。入所者の高齢化とともに、身体機能低下や認知症状のある方が増加傾向ではあるが、ボランティアの受け入れや余暇活動の見直しに取り組み、日常生活の維持・向上に繋げてきた。また、職員一丸となり、環境整備にも取り組んだ。今後もケアハウスの特性を活かし、施設で満足できる生活が送れるよう努力する。

(地域)

グリーン食堂(子ども食堂)は、昨年までコロナ禍により弁当の提供として開催していたが、今年度に入り以前同様施設内での提供に変更。また、新しく高校生のボランティアも加わり楽しく活動ができた。今後も安心・楽しいコミュニティ作りの場となるよう、ボランティアの方々と共に、食事の提供を行う。

令和5年度 事業実績報告書

訪問介護 介護センターかさま

要介護度別利用者状況

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	4	6	13	6	1	2	0	33
女	0	3	10	19	7	7	1	1	48
計	1	7	16	32	13	8	3	1	81
平均介護度	1.5								

年齢構成

	最高	最低	平均
男	99	54	78.1
女	99	57	85.6
全体	99	54	82.5

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	2	3	15	8	4	1	33
女	2	1	5	22	13	5	48
計	4	4	20	30	17	6	81

地域別登録者

施設	笠間	友部	岩間	城里	合計
23	29	13	1	2	68

訪問介護利用者状況

サービス内容	延件数	サービス内容	延件数	サービス内容	延件数
身体介護	1,985	障害者	283	通院等乗降介助	104
身体生活	2,957	移送サービス	705	総合事業	1,361
生活援助	852	自費サービス	355	合計	7,622

研修報告

参加者	場所	内容
飯島 厚美/篠田 美千代	オンライン	茨城県訪問介護員中央研修会
軽部 史千	オンライン	介護労働者雇用管理責任者講習
飯島 香織/平岡 裕香	ケアハウスかさま	感染予防研修(ガウンテクニック等)
大森 直美/柳町 美加/森田 友子(他2名)	ケアハウスかさま	虐待防止研修(全2回)
柳町 美加	福祉会館	高齢者虐待防止フォーラム
軽部 史千	福祉会館	施設長・管理者研修
軽部 史千	オンライン	障害者差別解消法に係る説明会
軽部 史千	オンライン	障害福祉事業経営セミナー
大森 直美/軽部 史千	茨城県視覚障害者協会	同行援護従業者養成研修

ひやりはつと・事故の状況

月項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはつと	0	0	0	1	0	3	2	0	1	3	0	0	10
介護事故	0	0	0	2	1	3	3	2	1	2	0	3	17

会議

	実施回数	実施内容
職員会議	12	ケース検討、事業計画確認等

職員勉強会

延参加人数	内容	延参加人数	内容
6	事業計画・虐待防止委員会	7	高齢者の尊厳・虐待防止委員会
6	食中毒予防	5	安全運転、事故防止
5	熱中症・脱水予防対応・安全対策委員会	6	リスクマネジメント・安全対策委員会
6	緊急時の対応	6	接遇
5	認知症対応力向上	6	自立支援
6	感染症対策・感染症対策委員会	5	災害対策・非常災害対策委員会

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①人材育成:職員の資質向上のため個別の研修計画を策定し、計画的な研修を実施する。(実施率 S:90%以上 A:80%以上 B:70%以上 C:70%未満)	S	S	S
②働きやすい環境の整備:ICT促進、業務の明確化・効率化、働き方の多様性に対応(実施・対応件数 S:6件以上 A:4件以上 B:2件以上 C:それ以下)	S	S	S

総括

令和5年度

介護保険サービス 訪問介護 5898件(達成率106%) 総合事業 1361件(達成率85%)

障害福祉サービス 居宅介護 283件(達成率102%)

・訪問介護は身体複合支援の増加により、目標達成。一人に対する頻回訪問を複数の利用者に分け実人数の増加に努めたことにより、全体的な利用回数の増加につながった。

障害者福祉サービスは、新たに同行援護指定を取得。居宅介護とともに、引き続き利用者の確保に努める。介護保険と障害福祉サービスの一体的な運営と保険対象外サービスの提供により、多様化・複雑化しているニーズに柔軟に対応行う。

令和5年度 事業実績報告書

居宅介護支援センターかさまグリーンハウス

居宅介護支援利用者数

地区	延人数	地区	延人数	地区	延人数	地区	延人数
笠間市	1,515	筑西市	6	城里町	21	栃木県	209
水戸市	12	東京都	51	その他県外	34	合計	1,848

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	1	2	18	21	9	7	2
女	4	4	30	19	23	9	6
計	5	6	48	40	32	16	8
平均介護度	2.1						

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上
男	2	4	17	14	8
女	3	3	14	42	48
計	5	7	31	56	56

	最高	最低	平均
男	99	53	80
女	98	57	86
全体	99	53	83

会議等参加状況

参加者	場所	内容
和田 智恵/斉藤 敦子	地域医療センターかさま	かさまケアマネ会運営委員会(年11回)
全職員	地域交流センター	かさまケアマネ会総会
菊地 めぐみ	グループホームかさま	グループホームかさま 運営推進会議
和田 智恵	笠間市役所	ケアプラン点検委員会(年6回)
全職員	地域医療センターかさま	地域ケア会議(年間6回)
斉藤 敦子	茂木町町民センター	茂木町居宅介護支援事業所連絡会

研修報告

参加者	場所	内容
和田 智恵/菊地 めぐみ/斉藤 敦子	地域交流センター	「ケアラーを地域で支えるために」
全職員	地域交流センター	笠間市介護支援専門員研修会(年2回)
和田 智恵	オンライン	後進育成・実習生の指導に関する研修
菊地めぐみ	オンライン	主任介護支援専門員更新研修 (9日間)

和田 智恵	オンライン	第一法規主催セミナー
和田 智恵 / 齊藤 敦子	地域交流センター	多職種との意見交換会(年3回)
寺崎 裕子	栃木県真岡市役所	パーキンソン病の進行と生活の注意点

会議

	実施回数	内容
サービ提供会議	48	利用者に関する情報・サービス提供に当たっての留意点・ケアプラン検証確認

職員勉強会

月	内容	月	内容
4	よくわかる社会保障制度 2023	10	BCPIについて
5	適切なケアマネジメント手法	11	何がどう変わるケアマネ業務
6	ファシリテーションのスキル	12	どうすれば利用者のニーズにたどり着けるか
7	ケアマネージャーのためのストレスコントロール術	1	ワーク・エンゲイジメントについて
8	介護支援経過の書き方	2	ACP実践事例にまなぶ意思決定支援
9	高齢者の特徴的な精神症状と対応の仕方	3	利用者の力をアセスメントする

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	12月評価	年間評価
利用者の自立支援に資する適切なケアマネジメントが提供できるよう専門性の向上を図るため、会議内で最新の情報の共有や多様なテーマの勉強会を実施する。	S	S	S
質の高いケアマネジメントが提供できるようにアセスメントからモニタリングまでの流れを検証確認する機会を設けることで、ケアプランとニーズの整合性を図る。	S	S	S

総括

令和5年度は、月4回のサービス提供会議の中で最新の情報共有や多様なテーマの勉強会が行なえた。ケアプランに関してもニーズの整合性が図れるよう、話し合いを持つことができた。事業所内で利用者の情報共有ができたことで利用者の把握ができ、対応がスムーズにおこなえた。

令和5年度 事業実績報告書

認知症高齢者グループホームかさま

要介護度別入所者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	0	1	0	0	2
女	4	4	6	1	0	15
計	5	4	7	1	0	17
平均介護度	2.7					

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	1	0	0	0	1	0	2
女	0	1	1	5	6	2	15
計	1	1	1	5	7	2	17

	最高	最低	平均
男	90	64	77
女	99	68	88.1
全体	99	64	86.8

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
女	0	1	5	6	3	0	0	0	0	15
計	0	2	5	6	4	0	0	0	0	17

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
男	0	0	0	0	0	2	0	2
女	3	5	1	2	1	3	0	15
計	3	5	1	2	1	5	0	17

会議

内容	実施回数	実施内容
職員会議	12	行事検討、安全対策、サービス向上、個別ケア、連絡事項
運営推進会議	6	入所者状況報告、運営状況、ひやり・事故報告、身体拘束
身体拘束適正化委員会	6	身体拘束指針、マニュアル、拘束適正化等
感染症対策委員会	12	感染症対策マニュアル・対応・予防・業務継続
高齢者虐待防止委員会	6	虐待防止指針、マニュアル、虐待事例の分析
安全対策委員会	6	リスクマネジメント、危険予測、ヒヤリハットの分析

研修報告

参加者	場所	内容
南雲 いずみ/仁平 忍	文化センター	死生観研修
池田 正代/斎藤 明美	健康プラザ	感染症クラスターについて
塚本 智美	笠間市役所	管理者研修
丸井 リベリティ クラリタド/笠倉 隆子	オンライン	認知症介護基礎研修

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	0	2	2	3	1	0	6	2	3	1	1	4	25
介護事故	1	2	3	5	1	3	2	4	3	2	4	1	31

職員勉強会

延参加人数	内容	延参加人数	内容
12	身体拘束(年6回)	10	感染症業務継続計画の学習
18	リスクマネジメント(年6回)	2	事業計画について
24	虐待防止(年6回)	20	防災について
72	感染症対策(年12回)		

【共用型通所】

要介護度別利用者状況

介護度 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	0	0	0	0	1
女	0	0	2	0	0	2
計	1	0	2	0	0	3
平均介護度	2.0					

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	1	0	1
女	0	0	1	1	0	0	2
計	0	0	1	1	1	0	3

	最高	最低	平均
男	91	91	91
女	81	76	78.5
全体	91	76	82.6

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
① 介護サービスの質の改善に向け「介護人材の資質向上」が必要となります。勉強会や内部研修に参加することで自己研鑽に努め伝達研修を実施する。(評価方法 実施回数 S:7回以上 A:6回 B:5回 C:3回以下)	S	A	A
② 事業継続計画 職業倫理感を持ち「自己決定の尊重・自立支援・自分らしい生活の継続」と利用者の視点から生活を支え「安心と責任」を基本に毎月のサービスが提供できる。(評価方法 実施回数 S:7回以上 A:6回 B:5回 C:3回以下)	A	A	A

認知症高齢者グループホーム稼働実績(4月～11月:定員9名=100%、12月～3月:定員18名=100%) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98
実績	99	100	100	97	93	83	87	94	94	92	93	86	93

共用型認知症対応型通所稼働実績(定員3名=100%) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95
実績	75	58	69	64	53	51	72	70	82	59	44	66	64

総括

『ケアハウスかさま』を拠点として居宅・訪問が連携を行い、グループホームへの入所、共用デイサービスの新規利用に繋がっている。本年度はコロナ感染が5類に移行したことで、家族の面会や共に過ごす時間が増えてきた。今年、コロナの感染が発生した際に、感染症対策の統一を周知徹底し正確な対策を実施することが出来た。今後も定期的な感染症対策の研修を重ね、発生した際にも慌てることなく対応行う。

医療面において訪問看護師と連携し、体調管理に努めていく。日頃より体操や、日中の散歩などを積極的に取り入れ、筋力維持等に努める。また、季節ごとの行事も充実させ利用者が興味、関心を持つような活動内容を心がけ、感動や笑いを提供し、より良いサービスの実現に向けて取り組む。

令和5年度 事業実績報告書

認知症対応型通所介護センターグリーンハウスともべ

要介護度別利用者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	4	2	4	0	0	10
女	4	3	6	2	1	28
計	8	5	10	2	1	26
平均介護度	2.34					

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	2	6	2	0	10
女	0	0	3	5	4	4	16
計	0	0	5	11	6	4	26

	最高	最低	平均
男	93	77	86.1
女	98	72	87.8
全体	98	72	87.2

会議

内容	実施回数	実施内容
職員会議	12	ケース検討、安全対策検討、サービス向上検討等
ナース会議	12	対応策の周知、業務改善検討、感染対策検討
機能訓練会議	12	ケース検討、機能訓練内容検討・評価
運営推進会議	2	事業報告、行事活動、利用者状況、ヒヤリはつと報告等

研修報告

参加者	場 所	内 容
清水 久美子	オンライン	安全運転管理者等研修
清水 久美子	オンライン	会計実務研修
清水 久美子	本部	デイサービスV字回復セミナー
大津 定子/金子 恵子/杉山 和代/深谷 明美	オンライン	認知症介護実践者研修
清水久美子・金子恵子	笠間市役所	令和5年度介護サービス事業所管理者研修

ひやりはつと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはつと	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
介護事故	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2

職員勉強会

延参加人数	内 容	延参加人数	内 容
12	コグニサイズについて	6	介護予防について
6	自然災害発生時の対応訓練	5	家族に向けての支援について

6	通所介護計画について	5	感染症発生時の対応訓練
6	認知症予防について	10	高齢者の精神疾患について実践・理論
12	パーソンセンタードケアの概念・実践		

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
①定期的に居宅や関係機関の訪問を行い、情報交換や交流を密にすることで、新規利用者の獲得に努める。(6か月評価 S:9人以上 A:5人以上8人以下 B:4人以下)	A	B	A
②認知症ケアに特化した人材育成のため、認知症の基本的な理解と対応について研修や勉強会の機会を確保し、質の高い認知症ケアを実現する。(6か月評価 S:6回以上 A:4回以上 B:3回以上)	S	A	A
③定期的に職員の声を聴く機会を設けて、個々の働き方に呼応した環境の整備や制度を取り入れることで、働きやすい環境を整え職員の定着につなげる。(6か月評価 S:6回以上 A:4回以上 B:3回以下)	A	A	A

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
年間目標	220	240	237	226	220	226	237	237	223	210	223	226	2,725
年間実績	181	213	208	197	185	202	214	220	222	212	202	193	2,449
1日平均	9.0	9.4	9.4	9.3	8.8	9.6	9.7	10.0	10.6	10.6	9.6	9.2	9.6

総括

令和5年度は、認知症対応型通所介護サービスとして、専門的支援に力を入れて進めてきた。利用者個々の対応、家族の介護に関する相談などにも対応しながら、個々のニーズに合わせる支援を進めることができた。また、職員のスキルアップについても専門的知識を学ぶことができた。今後の取り組みとしては、より地域に根差し、利用者だけでなく家族のケアを含めて支援の提供に繋げていきたい。

令和5年度 事業実績報告書

認知症対応型グループホーム グリーンハウスとちぎ

要介護度別入所者状況

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	2	0	1	0	0	3
女	1	7	3	3	0	1	15
計	1	9	3	4	0	1	18
平均介護度	2.0						

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	2	1	0	0	3
女	0	0	0	3	7	5	15
計	0	0	2	4	7	5	18

	最高	最低	平均
男	88	73	79.7
女	96	81	91.7
全体	96	81	89.7

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	1	1	0	0	1	0	0	3
女	0	0	3	2	7	1	1	0	1	15
計	0	0	4	3	7	1	2	0	1	18

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
男	0	0	1	2	0	0	0	3
女	2	3	7	1	2	0	0	15
計	2	3	8	3	2	0	0	18

会議

	実施回数	実施内容
職員会議	12	感染症及び虐待について・安全対策検討等

研修報告

参加者	場所	内容
深谷 哲央	オンライン	会計実務研修
深谷 哲央/田中 博之	オンライン	外国人コミュニケーション・受け入れ体制構築研修
田中 博之	オンライン	外国人異文化理解研修
宮脇 喜一	栃木県芳賀庁舎	感染症の予防と発生時の対応について
瀧田 菜採/森田 学(他2名)	オンライン	高齢者施設等における感染対策に関する研修会

森田 学	栃木県庁	実践者研修
深谷 哲央	オンライン	デイサービスV字回復セミナー
瀧田 菜採	栃木県庁	認知症対応型サービス事業管理者研修
椎名 明俊	オンライン	認知症を理解し、生き生きと支援を

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	3	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	7
介護事故	0	1	1	0	5	0	1	0	0	0	1	1	10

職員勉強会

延参加人数	内容	延参加人数	内容	延参加人数	内容
6	虐待	6	事業計画について	6	安全運転
5	緊急時対応	5	熱中症	6	リスクマネジメント
12	防災(BCP含む)2回	5	薬の知識	11	利用者の精神的ケア・身体的ケア
5	感染症(BCP含む)				

【共用型通所】

要介護度別利用者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	0	0	0	0	0
女	0	0	1	0	0
計	0	0	1	0	0

年齢別利用者構成

	80~89歳	90~94歳	95歳以上
男	0	0	0
女	0	0	1
計	0	0	1

	最高	最低
男	0	0
女	95	95
全体	95	95

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
職員の介護分野の基本的な知識及びスキル向上を目指し、勉強会や研修に参加する。また、職員全員で研修情報を共有し、職員教育に努める。(勉強会実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
空床状況、事業所の様子をSNS等で情報発信し、事業所の認知度を向上させる。(実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
病気や事故などによる入院者が出ないように、協力医や看護職員、介護職員間での連絡、相談を密にし、継続して取り組んでいく。(6ヶ月間で入院者数 S:0名 A:2名以下 B:3名以下 C:4名以上)	C	C	C

認知症高齢者グループホーム稼働実績(定員18名=100%)

(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98
実績	74	76	78	79	87	94	80	83	78	83	87	93	83

共用型認知症対応型通所介護稼働実績(定員3名=100%) (％)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95
実績	88	81	85	87	87	59	39	33	33	33	33	33	58

総括

令和5年度グループホーム入院者上半期4名、下半期7名。長期入院による退所などがあったが、令和6年3月末にて満床とすることができた。下半期は入院者が多くあったが、介護・看護職員間で連携し早期対応ができ、重度化せずに施設へ戻る事ができた。今後も満床の状態を維持し、体調管理に気を付けながら元気に楽しく生活できるようサービス提供を続けていきたい。

共用型認知症対応型通所介護では、利用者の入所や持病の悪化による入院等があり、目標達成には至らなかった。

引き続き営業活動を継続し、目標達成へ向けて利用者確保に努めたい。

令和5年度 事業実績報告書

訪問入浴介護センターグリーンハウスとちぎ

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	1	1	4	2	3	11
女	0	0	0	2	2	2	5	11
計	0	0	1	3	6	4	8	22
平均介護度	3.7							

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	2	1	5	2	1	0	11
女	1	1	2	3	2	2	11
計	3	2	7	5	3	2	22

	最高	最低	平均
男	92	53	84.5
女	100	63	72.1
全体	105	56	79.2

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
質の高いサービス提供のため、内部研修、勉強会を定期的を実施し、職員の資質向上に務める。(実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
居宅介護支援事業所への営業強化、パンフレットなどを活用することで訪問入浴を周知していただき、安定した利用者獲得、待機者確保に務める。(新規利用者確保6ヶ月間 S:12人以上 A:9人以上 B:6人以上 C:5人以下)	B	S	S

総括

3月現在、訪問入浴登録者は22名。また、益子町からの委託事業として、障害者1名の利用がある。

居宅介護支援事業所、在宅医、訪問看護ステーションとの緊密な連携によって利用者及び家族に寄り添った支援を行なうことができた。

今後も情報共有を密に行なうことで信頼関係をより強固なものとし、新規利用者確保に努める。

令和5年度 事業実績報告書

小規模多機能型居宅介護 グリーンハウスやまうち

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	3	3	0	1	0	0	8
女	3	0	2	3	1	1	1	11
計	4	3	5	3	2	1	1	19
平均介護度	1.39							

年齢別利用者構成

	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	1	3	3	1	8
女	0	0	5	2	4	11
計	0	1	8	5	5	19

	最高	最低	平均
男	95	78	88
女	97	86	92
全体	97	78	95

会議

	実施回数	実施内容
検討会議	12	個別サービス、安全対策会議、担当者会議、感染症対策委員会、虐待防止委員会

研修報告

参加者	場所	内容
伊藤 祥永	茂木町役場	業務継続計画(BCP)作成
伊藤 祥永	元気アップ館	災害時の対応及び防災計画
伊藤 祥永	茂木町町民センター	トラウマインフォームドケア
伊藤 祥永	茂木町役場	茂木町社会資源、人材確保等における情報交換会

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	16	11	10	11	8	12	9	3	10	6	4	6	106
介護事故	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	8

職員勉強会

延参加人数	内容	延参加人数	内容
11	サービス評価	5	BCP計画書
6	事業計画書	5	アルツハイマー型認知症
5	食中毒について	5	認知症
5	送迎車両	5	避難訓練
5	糖尿病	4	福祉用具貸与
5	熱中症,脱水症状		

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①介護・看護の各分野の基本的な知識及びスキル向上の為、勉強会開催・研修参加をし一人一人のスキル向上に努める。(6か月実施回数S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
②SNSを活用し事業所情報発信をすることで、利用者確保、職員確保につなげる。(6か月の発信回数 S:7回以上 A:6回以上 B:5回以上 C:4回以下)	S	S	S
③利用者及びご家族の生活や在宅介護等のニーズを定期的にあセスメントを実施しサービス支援の見直しを図り、サービス頻度の追加に結び付ける。(6か月の実施状況 S:6回以上 A:5回以上 B:4回以上 C:3回以下)	A	A	A

登録者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	24	24	24	24	24	24	25	25	25	25	25	25	294
実績	18	18	19	18	19	19	19	20	19	19	18	19	225

総括

新規利用者や中止者等の変動はあったが、中止者数が多く、目標登録者数の確保ができなかった。ADL低下による在宅生活が困難なケースが多く、特別養護老人ホーム等への施設入所が多い傾向となった。介護者の高齢化により、在宅介護の負担が目立つ地域となっており、幅広い支援内容を展開するとともに、介護者の負担軽減つなげる施設運営を目指したいと思う。利用者・家族のニーズに迅速に対応し、的確な支援につなげられる『質』の向上に努めていきたい。包括支援事業所・居宅支援事業所・病院等へ営業をおこない、多方面から受入可能な拠点として、地域のニーズ解消及び地域の活性化につなげたい。

令和5年度 実績報告書

認知症対応型グループホーム グリーンハウス陣屋

要介護度別入所者状況

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	0	0	1	2	3
女	1	4	1	2	3	4	15
計	1	4	1	2	4	6	18
平均介護度	3.27						

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	1	1	1	0	3
女	0	0	0	7	5	3	15
計	0	0	1	8	6	3	18

	最高	最低	平均
男	92	76	83.6
女	104	82	90.1
全体	104	76	89

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3
女	0	0	2	3	1	5	2	0	2	15
計	0	0	2	3	2	5	2	0	4	18

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	0	0	0	0	1	2	0	3
女	1	0	2	4	2	5	1	15
計	1	0	2	4	3	7	1	18

会議

内容	実施回数	実施内容
職員会議	12	個別ケア・身体拘束適正化・感染症対策・高齢者虐待防止等
サービス担当者会議	12	サービス計画の見直しと評価・検討
運営推進会議	6	入所者状況報告・事業計画・事業実績他
安全対策会議	12	事故報告書等による検討・今後の安全対策

研修報告

参加者	場所	内容
小葉 猛	ホテルニューつたや	外国人介護人材活用セミナー
小葉 猛	県南生涯学習センター	創造性開発セミナー

小葉 猛	オンライン	トヨタ式経営者セミナー
酒寄 智代/関 美佳	オンライン	認知症介護基礎研修
池田 美由紀/飛田 亮(他2名)	オンライン	白十字 Dケアセミナー「施設での感染症対策」
酒寄 智代/関 美佳	法人本部	法人1年次研修「交通安全研修」
中野 幸子	法人本部	法人2年次研修「認知症の理解と虐待防止の重要性について知る」
池田 美由紀	法人本部	法人ナース会
松本 智美	オンライン	令和5年度 第5回「看取り」
大和田 弘子/中野 幸子 増子 栞/鈴木 静空(他2名)	オンライン	三岳荘小松崎病院認知症疾患医療センター-連携協議会「認知症に対する作業療法」「笑いを引き出す認知症の方との接し方」

ひやりはつと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはつと	2	3	2	2	2	1	7	3	3	1	6	5	37
介護事故	2	3	8	3	3	2	3	2	3	6	3	7	45

職員勉強会

延参加人数	内容	延参加人数	内容
16	接遇・高齢者の尊厳・虐待防止(年2回)	22	リスクマネジメント・身体拘束適正化(年3回)
34	緊急時対応・看取り(年3回)	17	感染症予防・対策(年2回)
9	新型コロナウイルス	36	身体拘束適正化(年3回)
6	ヒヤリ・事故報告書内容の振り返り	8	認知症の理解(利用者間トラブルの原因)

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
① 認知症ケアを推進していくうえで、専門職としての人材育成となるよう、介護・医療共に専門的基礎知識を深める研修を行い、スキル向上に努める。(研修実施回数 S:6回以上 A:4回 B:2回 C:1回以下)	S	S	S
② 介護・看護の連携により、情報の共有・利用者個人に適したサービスの提供を実施し利用者が安心・安全な生活が出来るよう事故防止に努める。(月の事故件数 S:3件未満 A:4件 B:5件 C:6件以上)	C	C	C

認知症高齢者グループホーム利用実績(定員18名=100%)

(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98
実績	92.6	97.1	94.4	94.4	96.1	88.9	93.0	98.9	98.2	89.4	96.2	98.5	94.8

総括

令和5年度は、新規入居者の確保に時間を要し、年間の目標稼働率98%に対し稼働率94.8%という結果だった。年間退所者が7名と例年より多く契約空床が増えてしまった事、待機者からの入居がスムーズに行えなかった事が稼働率減の要因。

8月に新型コロナウイルス集団感染が発生し、職員含め30人以上の感染となった。1ユニットを感染フロアにしたり、少ない職員数でどのように業務を進めるのか試行錯誤での対応になった。今回の経験を今後の感染症対策・業務継続計画に活かすとともに、感染症拡大とならぬよう日々の予防対策・体調管理に努めたい。

入居者の入替もあり、身体的な重度者は減少したが、認知症の方との精神的関わり方がより重要になってきた。認知症ケアの知識向上の為、研修・勉強会を勧めると共に、入居者が「役割」を持ち、生活にハリが持てるよう「出来ること」を見つけながら、安心して過ごせるよう努めていきたい。

令和5年度 実績報告書

小規模多機能型居宅介護 グリーンハウス陣屋

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	1	0	0	0	0	1
女	2	1	7	2	1	2	0	15
計	2	1	8	2	1	2	0	16
平均介護度	1.52							

	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	1	0	0	1
女	1	4	5	3	2	15
計	1	4	6	3	2	16

	最高	最低	平均
男	82	82	82
女	98	69	83.6
全体	98	69	84.5

会議

内容	実施回数	実施内容
スタッフ会議	12	ケース検討・行事検討・多職種連携確認・感染症対策・高齢者虐待防止等
運営推進会議	6	運営状況報告・行事内容活動報告・連絡事項・意見交換
安全対策会議	8	要因分析・安全対策・再発防止

研修報告

参加者	場所	内容
白取 由紀	法人本部	デイサービスV字回復セミナー
木本 裕美	オンライン	白十字 Dケアセミナー「施設での感染症対策」
富田 梨紗	法人本部	法人2年次研修「認知症の理解と虐待防止の重要性について知る」
木本 裕美	法人本部	法人ナース会

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	0	1	1	0	0	2	1	1	2	1	1	0	10
介護事故	0	0	0	1	2	1	2	0	1	0	0	1	8

職員勉強会

延参加人数	内容	延参加人数	内容
10	高齢者の尊厳・接遇・虐待防止(年2回)	5	感染症予防・対策
12	リスクマネジメント・身体拘束適正化(年2回)	6	食中毒予防・対策
6	熱中症予防・対策	5	看取り期のケア
6	緊急時の対応	5	認知症に対する理解とケア
5	口腔ケア	5	介護技術

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
人材の確保・育成・定着 育成:外部研修,事業所内の勉強会に参加して職員一人一人が知識や技術を高める。 (6か月の実施件数 S:7件以上 A:6件 B:5件 C:5件以下)	A	A	A
定着:働きやすい環境を作る為に、職員面談を定期的を実施する。 (6ヶ月実施回数 S:7回以上 A:6回 B:5回 C:5回以下)	B	B	B
入院による利用者数の減少を抑える為に、介護、看護、医療機関と連携を図り体調管理を行う。 (6ヶ月 利用休止者: S:0人 A:1人 B:3人 C:5人以上)	A	A	A

登録者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	21	23	25	27	29	29	29	29	29	29	29	29	27
実績	18	18	19	18	17	18	19	19	17	18	17	16	18

総括

令和5年度は、登録者18名からスタートしましたが、施設入所やリハビリ目的の為の他事業所への移行が相次ぎ、年間での利用中止者は10名となった。新規問い合わせはあるが利用に至らず、年間の新規利用者は7名にとどまり、稼働率低迷となった。

令和6年度は、健全な事業運営ができるよう、近隣地域包括、居宅介護支援事業所、病院等と連携を図り、病院から在宅に戻る際のサポート機能を有する事業所であることを具体的な受入れ事例をもとにPR行う。併せて、長期入院防止のため、介護・看護・協力医の連携、家族との情報共有を深め、利用者の健康管理を徹底したい。

令和5年度 事業実績報告書

多機能型重症児デイサービス グリーンハウスおおつか

障害児通所利用状況

(児童発達支援)

(放課後等デイサービス)

区分 性別	重症心身 障害児	重症心身 障害児以外	合計	区分 性別	重症心身 障害児	重症心身 障害児以外	合計
男	1	1	2	男	4	0	4
女	2	1	3	女	6	0	6
計	3	2	5	計	10	0	10

年齢別利用者構造

(児童発達支援・放課後等デイサービス)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	合計
男	0	0	0	0	2	3	0	1	6
女	0	1	1	1	0	2	1	3	9
計	0	1	1	1	2	5	1	4	15

市町村別利用者状況

	水戸市	城里町	茨城町	合計
男	5	0	1	6
女	6	2	1	9
計	11	2	2	15

会議

内容	実施回数	延参加人数	実施内容
スタッフミーティング	11	64	各種委員会会議及び研修、個別支援計画作成会議・事業進行管理

研修報告

参加者	場所	内容
海老名 恵子	オンライン	茨城県医療的ケア児支援センター支援者向けシンポジウム
海老名 恵子/菅野 一恵	オンライン	医療的ケア児等支援者養成研修
海老名 恵子	オンライン	改正障害者差別解消法に係る説明会
海老名 恵子/菅野 一恵/平井 孝子	オンライン	こども病院在宅医療勉強会
菅野 一恵	ザ・ヒロサワ・シティ会館	福祉サービス苦情解決研修会
菅野 一恵	オンライン	令和5年度茨城県高次脳機能障害者支援基礎講座
海老名 恵子	オンライン	令和5年度茨城県小児在宅医療シンポジウム
菅野 一恵	水戸特別支援学校	令和5年度学校公開・授業見学会
海老名 恵子	アダストリア水戸アリーナ	令和5年度コミュニケーション研修
海老名 恵子	オンライン	令和5年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導

海老名 恵子	オンライン	令和5年度障害福祉関係指導監督職員等支援研修
磯 和利/海老名 恵子	オンライン	令和5年度障害福祉事業経営セミナー

ひやりはつと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはつと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

職員勉強会

延参加人数	内容
64	感染対策・虐待防止・身体拘束適正化について

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対処方法について理解を深める。(勉強会回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	A	A	A
②利用者様の個性を重視し、それぞれのニーズに合わせた適切な支援を提供する。(苦情件数 S:0件 C:1件以上)	S	S	S
③個々に研修に参加し、知識・技術の向上を目指す。(6か月での参加状況 S:7件以上 A:4~6件 B:1~3件 C:1件未満)	A	A	A

障害児通所利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	99	99	99	99	95	99	99	99	99	95	95	99	1,176
実績	77	99	87	96	89	86	99	79	86	81	88	94	1,061

総括

<p>令和5年度は、重症児サービスから放課後サービスに移行となった利用者が2人あり、放課後利用率が増加した。月に2~3人の入退院が発生したが、月平均88.4件となり、実績の目標値にほぼ近い状況となった。</p> <p>課題は、利用キャンセル時の対応。キャンセルが分かった時点で、家族等に連絡を入れ追加利用できる体制をとり、引き続き家族との情報共有を行うことで実績目標達成に努める。</p> <p>職員の育成については、次期児発管育成の為、障害福祉サービスの知識向上の研修受講と実務経験日数を習得出来た。引き続き、職員育成に取り組み、安定した運営を目標に努力したい。</p>
--

令和5年度 事業実績報告書

訪問看護ステーショングリーンハウスみと

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	医療	合計
男	0	4	8	8	3	5	0	6	34
女	2	7	10	14	7	2	0	2	44
計	2	11	18	22	10	7	0	8	78
平均介護度	1.8								

年齢別利用者構造

	64歳以下	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	合計
男	4	3	10	10	6	33
女	2	0	12	20	11	45
計	6	3	22	30	17	78

	最高	最低	平均
男	95	50	77.5
女	102	54	83.1
全体	102	50	80.7

市町村別利用者状況

	水戸市	茨城町	笠間市	大洗町	城里町	合計
男	14	0	15	3	1	33
女	20	2	23	0	0	45
計	34	2	38	3	1	78

会議

内容	実施回数	実施内容
ケアカンファレンス	24	新規利用者について・介入困難事例について

研修報告

参加者	場所	内容
全職員	オンライン	BCP策定
磯 和利	サ・ヒロサワ・シティ会館	安全運転管理者講習
上野 美砂記/川村 和美/矢田目 沙耶華/押田 麻莉絵	オンライン	医療機関での看取りの現状
全職員	オンライン	医療現場で知っておくべき高齢者虐待と権利擁護
全職員	オンライン	在宅における感染症予防の考え方と対策
武藤 俊典/船橋 健太/因 隼人	オンライン	生活期における高次脳機能障害者との関わり方・支援方法

上野 美砂記/川村 和美	茨城県看護協会	精神科訪問看護基本療養費算定要件を満たす研修
武藤 俊典/船橋 健太/因 隼人	オンライン	足部のFatpadと足部拘縮後の治療的アプローチ
全職員	オンライン	ハラスメント

職員勉強会

参加人数	内容	参加人数	内容
7	BCP(感染発生時)の対応	7	口腔ケアについて
7	BCP(災害時発生時)の対応	7	看護師と理学療法士の連携
7	リハビリ介入時の緊急対応	8	本年度の総括と次年度事業計画

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
① 感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対処法について理解を深める。(勉強会回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回)	A	A	A
② 延べ利用件数に占める医療保険の割合を増加する。(6か月での医療保険割合 S:20%以上 A:17~20%未満 B:15~17%未満 C:15%未満)	B	B	B
③ 個々に研修に参加し、知識・技術の向上を目指す。(6か月での参加状況 S:7件以上 A:4~6件以上 B:1~3件 C:1件未満)	S	S	S

訪問看護稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	420	440	460	480	525	575	509	529	515	530	530	545	6,058
実績	400	444	426	437	375	459	509	529	486	485	505	543	5,598

総括

<p>令和5年度は、下期より月平均500件を超え3月には過去3年の中で一番多い543件の実績となった。医療保険での利用者を確保するにあたり、近隣クリニックとの関係性を徐々に築くことにより月平均60件となり、新規の問い合わせも毎月あり依頼をもらえる状況になった。今後は月平均60件から80件になるよう引き続き営業活動を強化する。</p> <p>今後の課題は、医療連携加算でのグループホームとの関り。情報の共有及び知識・技術向上に力を入れ、医療分野での収入に結び付けたい。リハビリ分野では、看護師との連携を密にとり利用者一人ひとりの在宅での生活を支えるため視野を広く持ち対応行う。</p>
--

令和5年度 実績報告書 法人本部

評議員会・理事会開催録

	内容
第146回理事会 R5.5.24 理事6名 監事2名	1. 決議された事項 1) 令和4年度決算報告・社会福祉法人尚生会各会計決算について ・監事監査の結果報告 2) 社会福祉法人尚生会 理事長の選定について 3) 社会福祉法人尚生会 業務執行理事の選定について 4) 社会福祉法人尚生会 基本財産の処分及び賃貸(案)について 5) 社会福祉法人尚生会 定款の一部改正(案)について 6) 社会福祉法人尚生会 経理規程、給与規程の一部改正(案)について 7) 評議員会(第85回)の招集(案)について
第85回評議員会 R5.6.8 評議員6名 監事1名	2. 報告事項 (1) 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告(理事長専決事項について) 1) 介護保険請求ソフト「ワイズマン」の契約更新の報告について(かさまグリーンハウス、グリーンハウスみと) 2) 会計業務委託の報告について(法人本部) 3) 介護保険・社会福祉事業者総合保険(賠償責任保険)の報告について 4) 法人内車両自動車保険(フリート契約)の報告について 5) 車両の処分の報告について(グリーンハウスみと、グリーンハウスひたちなか) (2) 監督官庁が実施した検査又は調査の結果報告(改善指示がある場合は、その改善状況) 1) 外部評価結果報告について(グリーンハウスとちぎ) (3) その他報告が必要と認められる事項 1) 水戸市常澄高齢者支援センター運營業務受託の更新について 2) ひたちなか市大島中学校区地域包括支援センター運營業務受託の更新について 3) 準職員就業規則の一部改正について 4) JKA補助事業助成金決定の報告について(グリーンハウスみと) 5) 令和4年度事業実績報告について 3. その他 1) 介護福祉士実務者研修受講資金貸付制度の法人による連帯保証について
第147回理事会 R5.9.20(書面) 理事6名 監事2名	1. 決議された事項 1) グリーンハウスみと「本館・新館屋根改修整備工事」(案)について 2) グリーンハウスみと「本館・新館屋根改修整備工事」に係る一般競争入札の実施(案)について 3) 評議員会(第86回)の招集(案)について
第86回評議員会 R5.9.25(書面) 評議員7名 監事2名	
第148回理事会 R5.11.30 理事6名 監事2名	1. 決議された事項 1) グリーンハウスみと・グリーンハウスひたちなか電気供給契約の変更(案)について 2) グリーンハウスみと本館ナースコール設備交換およびICT機器整備工事計画(案)について 3) グリーンハウスみと本館ナースコール設備交換およびICT機器整備工事計画に係る指名競争入札の実施(案)について 4) グリーンハウスともべ 拠点区分間長期借入金返済計画の変更(案)について 5) 社会福祉法人尚生会 給与規程の一部改正(案)について 6) 令和5年度 社会福祉法人尚生会 第一次補正予算(案)について

<p>第87回評議員会 R5.12.15 評議員4名 監事2名</p>	<p>7)評議員会(第87回)の招集(案)について</p> <p>2.報告事項</p> <p>(1)理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告(理事長専決事項について)</p> <p>1)会計顧問契約先変更の報告について(本部)</p> <p>2)ブロック塀撤去及びフェンス設置の報告について(賃貸事業グリーンハウスいずみ)</p> <p>3)業務用洗濯機、乾燥機購入の報告について(グリーンハウスみと)</p> <p>4)特殊浴槽の購入報告について(グリーンハウスみと)</p> <p>5)照明器具更新工事の報告について(グリーンハウスひたちなか)</p> <p>6)パソコン更新の報告について(グリーンハウスひたちなか)</p> <p>7)1階北側系統空調設備修繕工事の報告について(ケアハウスかさま)</p> <p>8)施設内給湯器交換の報告について(グリーンハウスともべ)</p> <p>9)照明器具更新の報告について(グリーンハウスやまうち)</p> <p>10)車両購入の報告について(グリーンハウス陣屋)</p> <p>11)ワイズマン障害者システム契約更新の報告について(グリーンハウスおおつか)</p> <p>12)車両処分の報告について(グリーンハウス陣屋)</p> <p>13)寄附金の受入れに関する報告について(本部)</p> <p>(2) 監督官庁が実施した検査又は調査の結果報告(改善指示がある場合は、その改善状況)</p> <p>1) 一般検査及び実地指導の結果について(かさまグリーンハウス)</p> <p>2)消防立入検査結果報告について(かさまグリーンハウス、グリーンハウスとちぎ、グリーンハウスやまうち)</p> <p>(3)その他報告が必要と認められる事項</p> <p>1)本館・新館屋根改修整備工事に係る業者決定について(グリーンハウスみと)</p> <p>2)準職員就業規則の一部改正(案)について</p> <p>3.その他</p> <p>1)令和5年度優勝勤労障害者表彰について</p> <p>2)令和5年度「介護の日」作文コンクール受賞について</p> <p>3)物価高騰における特養の運営について</p>
<p>第149回理事会 R5.2.28 理事5名 監事2名</p>	<p>1.決議された事項</p> <p>1)居宅介護支援センターグリーンハウスひたちなか新規開設計画(案)について</p> <p>2)令和6年度社会福祉法人尚生会事業計画(案)について</p> <p>3)令和6年度社会福祉法人尚生会予算(案)について</p> <p>4)介護材料購入契約の変更(案)について</p> <p>5)社会福祉法人尚生会 役員等に対する報酬及び旅費規程の一部改正(案)について</p> <p>6)評議員会(第88回)の招集(案)について</p>
<p>第88回評議員会 R6.3.14 評議員7名 監事2名</p>	<p>2.報告事項</p> <p>(1)理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告(理事長専決事項について)</p> <p>1)電気供給契約の変更の報告について(かさまグリーンハウス・ケアハウスかさま)</p> <p>2)電気供給契約の期間変更について(グリーンハウスみと、グリーンハウスひたちなか)</p> <p>3)エコキュート購入の報告について(グリーンハウスひたちなか)</p> <p>4)空調室外機修繕工事の報告について(グリーンハウスひたちなか)</p> <p>(2) 監督官庁が実施した検査又は調査の結果報告(改善指示がある場合は、その改善状況)</p> <p>1) 全国健保協会管掌健保及び厚生年金被保険者の資格・報酬の調査結果報告について(本部)</p> <p>2)障害者雇用納付金等に関する調査結果報告について(本部)</p> <p>3)消防立入検査結果報告について(グリーンハウスともべ)</p> <p>3.その他</p> <p>1)ネパール国籍介護職員4名の採用について</p>

法人会議

会議	実施回数	内容	会議	実施回数	内容
理事長会議	9	各拠点からの運営状況報告、法人課題	連絡会議	2	各事業からの目標進捗状況報告
施設長会議	7	規程類変更、職員処遇検討、人材確保	相談員会議	2	相談員間の課題共有と対応策検討

法人研修

研修内容	延参加人数	場所
1年次研修「安全運転研修」	13	法人本部
2年次研修「認知症の理解と虐待防止」	11	法人本部
3年次研修&ナース会「摂食嚥下障害の基礎知識と臨床技術」	14	グリーンハウスみと
ナース会(年3回)	23	法人本部
管理職研修「自事業所の収支管理」「運営状況の理解」	17	法人本部
管理職研修「キャリアの自己理解と部下育成」	18	法人本部
新卒採用者研修	5	法人本部
法人全体研修「令和6年度運営方針」	169	オンライン

研修報告

参加者	場 所	内 容
北村 多果子	茨城県開発公社ビル	ChatGPT時代のリスクニング
菅生 千晴	オンライン	会計実務研修
檜崎 宮子	茨城県トラック総合会館	公正採用選考人権啓発推進員研修会
菅生 千晴	水戸市民会館	障害者雇用納付金制度 事務説明会
檜崎 宮子	水戸市民会館	障害者生活相談員資格認定講習
杉山 義典	日本赤十字社	医療福祉フォーラム報酬同時改定と法人経営戦略
北村 多果子	友部公民館	ダイバーシティ&インクルージョン推進講演会
檜崎 宮子	オンライン	令和5年度高齢者福祉事業経営セミナー
檜崎 宮子	オンライン	労働条件明示のルール改正について
檜崎 宮子	ザ・ヒロサワ・シティ会館	令和5年度算定基礎届事務講習会

苦情解決状況(意見要望を含む) ※令和5年度なし

有資格者数

	社会福祉士	介護支援専門員	介護福祉士	社会福祉主事	看護(正・準)	PT・OT
合計	8	51	149	27	41	9

障害者雇用状況

事業所	人数	事業所	人数	事業所	人数
かさまグリーンハウス	1	グリーンハウスみと	1	グリーンハウスひたちなか	1
ケアハウスかさま	2	グリーンハウス陣屋	1	合計	6名

実習生受入れ状況

受入施設	延受入日数	実習校
グリーンハウスみと	115	茨城県立水戸高等特別支援学校／筑波大学(医学類) 介護労働安定センター／駿優国際医療ビジネス専門学校
グリーンハウスひたちなか	244	茨城キリスト教大学(食物健康科学科)／常磐大学(健康栄養学科) 駿優国際医療ビジネス専門学校／八文字学園(看護学科)
グループホームかさま	10	茨城県立友部特別支援学校

処遇改善加算金等の支給状況

支給日	毎月・月例給与と併せて支給(毎月15日・銀行休業日の場合直前の営業日)			
支給対象事業所	かさま(介護老人福祉施設、認知症対応型通所)/みと(介護老人福祉施設、通所介護) ひたなか(介護老人福祉施設、認知症対応型通所介護)/ケアハウス(グループホーム、訪問介護) ともべ(通所介護)/とちぎ(グループホーム、訪問入浴、小規模多機能型居宅介護)/陣屋(グループホーム、小規模多機能型居宅介護/おおつか(多機能型重症児サービス)			
処遇改善加算金	支給延人数	2,883 名	合計支給額	98,120,269 円
特定処遇改善加算金	支給延人数	3,450 名	合計支給額	29,301,010 円
ベースアップ加算金	支給延人数	2,960 名	合計支給額	18,006,500 円

支援補助金の支給状況

支給日	毎月・月例給与と併せて支給(毎月15日・銀行休業日の場合直前の営業日)		
支給対象事業所	ケアハウス(軽費老人ホーム)		
支給延人数	25 名	合計支給額	204,810 円

本部地域貢献活動

多目的ホール貸出	エアロビクス・ステップ・ヨガ・ストレッチポール
----------	-------------------------

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
各施設、事業所へ財務状況を周知、理解を促し具体的対応策による指導を行う。 (黒字事業所割合 S:91~100% A:81~90% B:61~80% C:60%以下)	B	B	B
収益向上や職員定着に繋がるよう施設・事業所管理運営に有益な研修・セミナーの参加促進を行う。(管理職の参加割合 S:100%A:90~99%件B:80~89件C:79%以下)	C	A	B
軽費削減・業務改善に継続的に取り組む。(取組み件数 S:7件 A:6件 B:5件 C:4件)	B	B	B

総括

<p>令和5年度、会計処理の整理と手順統一に取り組んだ。システムの更新による自動化の推進(伝票入力等の手作業の削減)と併せて、本部主体であった会計を、「発生主義」の原則に立ち返り、本部拠点間の業務分担、連携体制を整理し、各拠点管理職へ移行したことも大きな変革であった。</p> <p>変貌する介護保険制度・地域状況・高齢者対応・競合他社との差別化には毎月の確実な収支管理が必要不可欠となっており、管理職対象の会計事務所による研修会を開催し収支管理の重要性を学ぶ機会を設けた。</p> <p>令和6年度においても引きつづき各拠点管理職及び管理者クラスの知識向上を目的に内部外部研修への積極的参加に取り組む。管理職及び管理者のスキルアップが、各事業の安定的運営に繋がると考える。</p> <p>法人本部は、法人運営の基幹業務を迅速かつ確実に遂行する事は勿論、法人全ての情報が集約される部署として、情報処理能力向上に併せ情報分析能力の向上を目指し、各事業運営に役立つ情報提供を行えることを目標に置きたい。</p>
